

2019年度 事業報告書

2019年4月1日～2020年3月31日

特定非営利活動法人アトピッ子地球の子ネットワーク

1 事業の成果と課題

新型コロナ禍により、いくつもの企画が中止や延期となり、それがずっと続いている。2020年3月からは当法人スタッフは原則リモートワークに入った。現実に対応した形で新たな事業や企画を立案実施していきたいと考えている。

再掲となりますが、当法人が主催している「アレルギー相談をテーマにした事例検討会」冒頭の開催意図を紹介し、事業の成果・到達点と課題といたします。

【ひとつの問題を異なる視点から見るのが解決の糸口に】

本日ご参加いただいている市民団体のみなさんは、日本国内において地域内または地域を超えて食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、喘息など、いわゆるアレルギー疾患のある患者さんたちの支援を日常的にしていらっしゃいますが、それぞれに活動の形は違っています。

たとえば、私たちのアトピッ子地球の子ネットワークでは、電話相談の活動が中心ですが、一方で食物アレルギーの子どもたちの暮らしを支援するためのポスターや小冊子などを作成・配布する活動も行っています。

ほかの団体では、交流会などで患者さんと直接接する機会をたくさんお持ちだったり、面談による相談を新たにはじめられたりしているところもあります。そうした活動を通じて、特別に「相談」という形はとっていなくても、患者の悩みや困難な状況を聞き取る、実質的な相談を日常的に受けているのです。

私たちアトピッ子地球の子ネットワークが、この事例検討会を開催した経緯のひとつに、こうした相談が市民活動においてどのような意味・役割・責任があるのかを年に一度みなさんと一緒に考えてみたいと思ったことがあります。この相談の持つ「意味・役割・責任」とは、医療に携わる人ではできないことであり、それを行うに当たって医療に踏み込んではいけなないといった側面もあることから、どの団体も手探りでやっているのが現状ではないでしょうか。

ですから、この事例検討会は共通の課題を確認し、一緒に発言していくことで社会に働きかけができることを発見し相互に助け合うようなことができるような場にしていきたいと思っています。みなさんに盛り立てていただいて、なんとか6回目を迎えることができました。

毎回、市民活動の応援団として、医師や研究者の方々にもご参加いただき、患者の立場とは違った視点から出来事を見ることで議論を深めていただいています。また医師や研究者の方々とは違った立場で、患者さんの日常を応援してくださっているのが企業のみなさんです。こうしていろいろな立場の方々が集まって、ひとつの問題を異なる視点から見るのが、解決の糸口につながると考えております。

今回から新しくご参加いただく方もかなりいらっしゃいますので、新たなディスカッションの広がり期待します。患者さんからの相談事例のほか、東日本大震災・熊本地震・西日本豪雨の災害支援報告などもあります。支援状況を振り返ることで、今後私たち市民団体がどうやって食物アレルギーやアトピーの患者さんの支援をしていくかといった議論もできるのではないかと考えています。

どこかの誰かができること、誰でもできることをやるよりは、当法人だけができる事業を開発し展開したいと考えています。「正しい解(答え)」を求めず、「治療に合わせた患者」を作ることには与せず、本来的・根源的な意味で「マイノリティ(少数者)や困っている人に寄り添うこと、「受容」「共感」「寛容」「利他的」であることを旨として、様々な活動を今後も模索し展開していきたいと考えています。

2 事業の実施に関する事項

(事業費の総費用【 21,723 】千円)

(1) 特定非営利活動に係る事業						
事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
電話相談	<p>・電話相談窓口開設</p> <p>アトピー・アレルギー性疾患のある患者の保護者や当事者などからの相談を受け、相談者に寄り添い暮らし方のアドバイスを。「正しい答え」を伝えるのではなく、相談者が自身で判断するための伴走者として当法人の電話相談窓口はある。</p> <p>当法人の電話相談は、東日本大震災や熊本地震などの大規模災害で被災したアレルギー患者・災害弱者、育児放棄や虐待などで親と一緒に暮らすことができない子どもを受け入れる里親・ファミリーホーム、また、企業・団体・行政職員などからの相談も受け付ける。</p> <p>集中電話相談／アトピーアレルギーホットライン：上記と同じ内容で、開設時間を延長する。。</p> <p>新型コロナ禍により2020年3月から当法人スタッフは原則リモートワークに入り、電話相談活動はストップしている。相談員が自宅で相談活動をすればいいと通常は考えるだろうが、相談員の他にスーパーバイザーを置くことで、社会的な相談窓口を維持してきた。次年度以降は当面、代替活動として、患者家族や本人によるZoomを利用したおしゃべり会や交流会を実施する予定である。</p>	<p>毎週2日間、</p> <p>木曜日開設</p> <p>(休日、8月休み)</p> <p>11:00-12:00</p> <p>13:00-15:00</p> <p>毎月第3木曜日</p> <p>10:00-17:00</p>	法人事務所	4人	食物アレルギー、喘息、アトピー性皮膚炎などのアトピー・アレルギー性疾患、化学物質過敏症患者及び一般市民、企業・団体、行政 不特定多数	0
調査研究	<p>・シャワーヘッド(浄水器)の使用感調査</p> <p>皮膚症状やアトピー性皮膚炎のある患者が安心して使える可能性のある製品開発のために使用感調査を行った。</p> <p>(一社)浄水器協会協力事業</p>	10月～1月	法人事務所	5人	不特定多数	1,526
	<p>・10代～20代の食物アレルギーとアナフィラキシーに関するWebアンケート</p> <p>実態把握のためにアンケートを実施し、課題の社会化を行った。</p>	6月～8月	法人事務所	4人	不特定多数	

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
調査研究	<p>・小規模保育園における食物アレルギー対策の実態把握と課題解決のための学習機会の提供</p> <p>小規模保育園や家庭的保育における食物アレルギー対応の実態と課題について調査し現状を把握した上で、小規模保育に関わる運営者、保育者、栄養士、調理員の課題解決のための学習機会を提供し、増加傾向に有る食物アレルギーの子ども達の社会的支援の充実を図る。東京と神戸で調査を実施し、保育所運営者、保育士、栄養士、調理員が課題解決の方法を学べる学習機会を提供した。(公財)小林製薬青い鳥財団助成事業</p>	4月～6月 2018年度からの継続事業	法人事務所	5人	不特定多数	
環境教育	<p>・夏休み環境教育キャンプ2019</p> <p>食物アレルギー、喘息、アトピー性皮膚炎のある患者とその家族を対象とした体感型環境教育プログラムを提供した。「エピペン」(食物アレルギー緊急時治療用自己注射)持参の子どもも数多く参加。食事は「症状の重い」子どもに合わせてみんなで同じものを食べる試み(学校給食とは逆の発想)。アレルギーだけではなく「発達障害」などの多様な子どもの課題に対処。将来地域や仕事で患者を支援する立場になる、栄養士、保育士、教員、社会教育、医療系の学生や社会人がボランティアとして参加。次世代ボランティアを養成するためのインキュベート企画でもある。また、東日本大震災で被災したアレルギー患者家族を優待した。ファミリーホームの子ども達を無料招待した。</p>	4月～3月 8月12日～14日、ボランティア・スタッフは前日8月11日から会場入り	法人事務所 藤野芸術の家(神奈川県相模原市)	61人	アトピー・アレルギー性疾患患者とその家族及び一般市民123人	5,275
	<p>・秋山プロジェクト</p> <p>人と自然の共生、身体と環境の関係を、山梨県旧秋山村の当法人拠点とその周辺をフィールドとして里山ウォーキング等を体験し学習する機会を提供した。大人と子どもが一緒に参加できる企画である。</p>	4月～3月 *5月、7月、1月、3月にプロジェクト開催	山梨県上野原市 法人事務所	4人	17人	

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
情報提供	<p>・Webサイト「食物アレルギー危機管理情報(FAICM)」(FAICM=Food Allergy Information for Crisis Management)</p> <p>アレルギー混入事故食品に関する自主回収情報を本サイトにアップ・集約し、サイトに登録した食物アレルギー患者などに案内メールが直接届くWebサイトを運用する。市民と企業による公共知の創造を目指している。</p>	4月～3月	法人事務所	7人	不特定多数	14,743
	<p>・アレルギー相談をテーマにした第7回事例検討会</p> <p>相談事例、特徴的な困難事例の共有、複数の患者団体、企業が連携して患者支援に取り組むべき事例の検討などを行った。横断的にアレルギーに関わる組織の、(市民)相談窓口の質的向上を目指す試みでもある。報告集を制作中である。</p>	4月～3月 11月9日	法人事務所 新宿NPO協働推進センター	8人	32人 不特定多数	
	<p>・IFAAA国際会議</p> <p>10月にイタリアで開催された国際会議に参加し、情報の共有と日本の事例を紹介した。参加23カ国(地域)。</p> <p>IFAAA=International Food Allergy & Anaphylaxis Alliance</p>	4月～3月 10月15日～16日	法人事務所 イタリア (フィレンツェ)	4人	不特定多数	
	<p>・第3回食物アレルギーとアナフィラキシーに関するアジア会議(アジア会議)の開催</p> <p>インド、香港、シンガポール、オーストラリアの4カ国から食物アレルギーに関わる組織のメンバーを日本に招請し、アジアの食物アレルギーに関する情報交換と共有のための国際会議を開催した。</p>	4月～3月 4月15日	法人事務所 日本財団会議室	6人	15人 不特定多数	
	<p>・第3回アジア会議シンポジウムの開催</p> <p>アジア会議開催に合わせて、海外ゲスト、消費者庁や医師を招き、食物アレルギーに関わるシンポジウムを開催し、課題の共有を行った。</p>	4月～3月 4月15日	法人事務所 日本財団会議室	6人	63人 不特定多数	

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
情報提供	・カードゲーム「らんらんランチ」 食物アレルギー認知・理解向上のためのキャンペーンツール。 4個1セット(12人～20人が遊べる)を普及した。	4月～3月	法人事務所	4人	不特定多数	
	・東京子育て・食物アレルギーまっぴんぐ 食物アレルギーのある子どもを養育する母親自身が都内の身近な場所で経験した「よいこと」を集め、公共知にまで高めることができないかという仮説を立て、事実確認と情報整理をしながら、広く活用できるデータベース(ホームページ)を制作・運用した。	4月～3月	法人事務所	4人	不特定多数	
	・エピペン(食物アレルギー緊急時自己注射)携帯ケース エピペンを子ども自身が持参し自己防衛と危機管理をするための「エピペン携帯ケース」を作成、販売した。	4月～3月	法人事務所	4人	不特定多数	
	・依頼原稿執筆と書籍執筆 依頼原稿執筆等、広く情報提供を行った。	4月～3月	法人事務所	3人	不特定多数	
	・ホームページの運用 活動内容の紹介等、広く情報提供を行った(オンラインクレジットカード、コンビニ等決済システム維持管理を含む)。同じくfacebookやTwitterなどのSNSも運用した。	4月～3月	法人事務所	4人	不特定多数	
	・情報センター機能 メディア取材、企業・団体からの情報提供依頼、研究者への協力等に資するため、各種情報誌、学会誌、書籍等を閲覧に供した。新型コロナ禍によりその運営は停止している。	4月～3月	法人事務所	4人	不特定多数	
	・執筆書籍や自主発行制作物の普及 当法人が執筆した、『学校給食アレルギー事故防止マニュアル 先生・親・子どもとはじめる危機管理』(合同出版)などの書籍や調査報告書などを配布した。	4月～3月	法人事務所	4人	不特定多数	

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
情報提供	・アレルギー対応製品販売協力 アレルギー対応製品を選択せざるをえない患者が安心して商品選定ができるよう協力した。また、アレルギーや商品に関わる動向についてリサーチを実施した。オイシックス・ラ・大地協力事業	4月～3月	法人事務所	3人	不特定多数	
	・食物アレルギーの人の食生活を豊かにするための「共同食品カタログ2019」 13社の食品・流通企業の各商品の一つのカタログに集め、情報を必要としている患者家族や医療機関、患者の通う保育園・幼稚園・学校、施設などに9,000部無料配布した。当法人ホームページからダウンロードできる。	4月～3月	法人事務所	6人	9,000人 不特定多数	
	・西日本豪雨アレルギー患者・災害弱者支援活動 2018年7月に発生した西日本豪雨(平成30年7月豪雨)で被災した主に岡山県倉敷市真備地区の患者家族や子ども、保育園園児などを対象に2019年度まで支援活動を継続した。現状を知るためのアンケートを実施し、結果を報告集にまとめ、継続した支援を必要とする人に、子どものいる家庭用の救急セット、レトルト食品などを無償提供した。地元の保健所、保健師、災害支援センター、保育園などとも連携した事業である。(公財)日本財団助成事業	4月～6月 2018年度からの継続事業	法人事務所	7人	不特定多数	
	・災害弱者子育て支援プロジェクト(西日本豪雨) 2018年7月に発生した西日本豪雨で被災した、岡山県倉敷市真備地区を対象に、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、発達障害をテーマにした医師と母親の交流会を地元保育園の協力で3回開催し、悩みや不安の解消とともに人的ネットワークの再構築に取り組んだ。また、倉敷市、保健福祉センター、保育園、災害支援団体に聞き取りを行い、報告集を作成した。日本たばこ産業(JT)助成事業	4月～3月 7月2日、11月19日、1月28日	法人事務所 岡山県倉敷市、同真備地区、地域子育て支援センター真備かなりや	6人	不特定多数	

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
情報提供	<p>・子ども食堂スタッフ、食物アレルギーがある高校生や学生のための「安全安心プロジェクト」</p> <p>子ども食堂：地域で子ども達の居場所作りや経済的に困難な子ども達の暮らしを支える、子ども食堂関係者を主な対象とした食物アレルギーに関する勉強会講師(内容は誤食事例、調理環境や食事提供時の注意点、ユニバーサルな食材料やメニューの提案など)を、子ども食堂をネットワークする組織の協力を得て、九州・沖縄、北海道で務めた。子ども達の安全安心を応援する企画である。</p> <p>ティーンズミーティング：食物アレルギーがある高校生、学生等の若者を対象としたミーティング開催した。当事者同士で経験を語り合い、様々な課題の共有を行い、未来を切り開くための貴重な交流の場となった。</p> <p>新型コロナ禍により、予定されていた2回のミーティングは中止することとなった。積水ハウスマッチングプログラムの会助成事業</p>	<p>4月～3月</p> <p>8月23日、24日</p> <p>9月9日</p> <p>子ども食堂</p> <p>8月13日</p> <p>12月7日</p> <p>12月13日(ハウス食品協力)</p> <p>中止2月29日(すかいらく協力)</p> <p>中止3月15日</p>	<p>法人事務所</p> <p>佐賀市</p> <p>札幌市</p> <p>相模原市</p> <p>札幌市北海道大学</p> <p>東京四谷</p> <p>東京三鷹</p> <p>神戸市</p>	<p>4人</p> <p>6人</p> <p>4人</p>	<p>不特定多数</p> <p>不特定多数</p> <p>不特定多数</p>	
	<p>・逗子市総合防災訓練出展</p> <p>神奈川県逗子市で開催された防災イベントに出展し、アレルギー用の災害食の展示と大規模災害発生時の被災地支援活動のパネル展示を行い、アレルギー患者や災害弱者支援への協力を呼びかけた。</p>	<p>7月～10月</p> <p>10月5日</p>	<p>法人事務所</p> <p>逗子市</p>	<p>6人</p>	<p>不特定多数</p>	
	<p>・組織運営協力</p> <p>アレルギー表示の問題に取り組む組織の事務局運営に協力した。また、同組織が開催する「基礎講座」や「連続講座」等のイベント開催の事務局を務めた。(一社)食物アレルギーフォーラム協力事業</p>	<p>4月～3月</p>	<p>法人事務所</p>	<p>4人</p>	<p>不特定多数</p>	

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
情報提供	・市民シンポジウム「いま、学校給食について考える」 学校給食のはじまりから今日まで。貧困対策、アレルギー対応、中学校給食。給食のこれからについて、全国学校給食を考える会と共同開催し、運営と講師を務めた。	4月～5月 4月14日	法人事務所 日本財団会議室	7人	68人	
普及啓発	・講師派遣 アトピー・アレルギー性疾患に関わる患者実態、危機管理、災害支援。子どもや保護者が抱える課題。また、NPO法人運営、市民活動(運動)等に関する情報を、市民、企業・団体・行政・学校等に広く提供した。一部自主開催企画もある。主に当法人事務局長を派遣。 新型コロナ禍よりいくつかの講師派遣がキャンセルとなった。	4月～3月 15回	依頼者が指定する会場	4人	不特定多数	177

2019年度 活動計算書

【税込】(単位:円)

特定非営利活動法人アトピッツ地球の子ネットワーク

自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月31日

【経常収益】		
【受取会費】		
正会員受取会費	55,000	
会員受取会費	165,000	
賛助会員受取会費	1,320,000	1,540,000
【受取寄付金】		
受取寄付金		2,022,587
【受取助成金等】		
受取助成金		15,826,650
【事業収益】		
調査研究事業収益	343,102	
環境教育事業収益	2,290,520	
情報提供事業収益	6,334,440	
普及啓発事業収益	188,400	9,156,462
【その他収益】		
受取 利息	38	
受取配当金	45	
受取手数料	11,700	
雑 収 益	128,601	140,384
経常収益 計		28,686,083
【経常費用】		
【事業費】		
(人件費)		
給料 手当(事業)	2,761,415	
臨時雇賃金	942,000	
法定福利費(事業)	267,537	
人件費計	3,970,952	
(その他経費)		
期首商品棚卸高	484,932	
期末商品棚卸高	△ 604,866	
業務委託費(事業)	6,799,000	
諸 謝 金	501,930	
外 注 費	2,666,814	
印刷製本費(事業)	948,046	
資 料 費(事業)	17,150	
会 議 費(事業)	312,156	
旅費交通費(事業)	3,192,975	
通信運搬費(事業)	1,411,098	
消耗品 費(事業)	869,519	
減価償却費(事業)	694,224	
保 險 料(事業)	42,600	
諸 会 費(事業)	11,000	
租税 公課(事業)	406,429	
その他経費計	17,753,007	
事業費 計		21,723,959
【管理費】		
(人件費)		
給料 手当	936,650	
法定福利費	106,118	
通 勤 費	182,430	
人件費計	1,225,198	
(その他経費)		
印刷製本費	177,045	

2019年度 活動計算書

【税込】(単位:円)

特定非営利活動法人アトピッ子地球の子ネットワーク

自 2019年 4月 1日 至 2020年 3月31日

会議費	167,267		
旅費交通費	416,572		
通信運搬費	1,140,770		
消耗品費	250,452		
水道光熱費	130,388		
地代家賃	1,475,064		
賃借料	240,000		
新聞図書費	44,560		
保険料	48,782		
諸会費	58,700		
リース料	276,048		
租税公課	7,971		
支払手数料	207,601		
支払報酬料	516,600		
支払利息	152,351		
その他経費計	5,310,171		
管理費計		6,535,369	
経常費用計			28,259,328
当期経常増減額			426,755
【経常外収益】			
経常外収益計			0
【経常外費用】			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			426,755
法人税、住民税及び事業税			70,000
当期正味財産増減額			356,755
前期繰越正味財産額			△ 6,691,778
次期繰越正味財産額			△ 6,335,023

2019年度 貸借対照表

特定非営利活動法人アトピッツ地球の子ネットワーク
全事業所

[税込] (単位: 円)
2020年 3月31日 現在

《資産の部》			
【流動資産】			
(現金・預金)			
現 金	57,182		
普通 預金	5,537,087		
現金・預金 計	5,594,269		
(売上債権)			
未 収 金	2,373,000		
売上債権 計	2,373,000		
(棚卸資産)			
棚卸 資産	604,866		
棚卸資産 計	604,866		
(その他流動資産)			
前払 費用	164,648		
仮 払 金	3,426		
その他流動資産 計	168,074		
流動資産合計		8,740,209	
【固定資産】			
(無形固定資産)			
ソフトウェア	925,650		
無形固定資産 計	925,650		
(投資その他の資産)			
出 資 金	10,000		
敷 金	300,000		
投資その他の資産 計	310,000		
固定資産合計		1,235,650	
資産合計		9,975,859	
《負債の部》			
【流動負債】			
未 払 金	3,899,239		
前 受 金	80,000		
短期借入金	5,965,000		
預 り 金	85,443		
未払法人税等	70,000		
未払消費税等	412,200		
流動負債合計		10,511,882	
【固定負債】			
長期借入金	5,799,000		
固定負債合計		5,799,000	
負債合計		16,310,882	
《正味財産の部》			
前期繰越正味財産		△ 6,691,778	
当期正味財産増減額		356,755	
正味財産合計		△ 6,335,023	
負債及び正味財産合計		9,975,859	

2019年度 財務諸表の注記

特定非営利活動法人アトピッ子地球の子ネットワーク

2020年 3月31日 現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1). 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法

(2). 固定資産の減価償却の方法

無形固定資産：法人税法の規定に基づく定額法又は旧定額法を採用しております。

ただし、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用期間（5年）に基づく定額法を採用しております

(3). 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み経理方式によっています。

【事業費の内訳】

[税込] (単位: 円)

科目	電話相談事業	調査研究事業	環境教育事業	情報提供事業	普及啓発事業	合計
(人件費)						
給料 手当(事業)		85,750	583,758	2,042,436	49,471	2,761,415
臨時雇賃金		0	30,000	912,000	0	942,000
法定福利費(事業)		9,715	66,137	186,080	5,605	267,537
人件費計	0	95,465	679,895	3,140,516	55,076	3,970,952
(その他経費)						
期首棚卸高				484,932		484,932
期末棚卸高				△ 604,866		△ 604,866
業務委託費(事業)		135,964	894,500	5,696,976	71,560	6,799,000
諸 謝 金		0	100,000	371,930	30,000	501,930
外 注 費		518,400	1,455,890	692,524	0	2,666,814
印刷製本費(事業)		262,164	69,950	615,932	0	948,046
資 料 費(事業)		0	150	17,000	0	17,150
会 議 費(事業)		0	60,300	251,856	0	312,156
旅費交通費(事業)		0	1,378,384	1,801,691	12,900	3,192,975
通信運搬費(事業)		499,757	22,894	888,447	0	1,411,098
消耗品 費(事業)		0	487,827	381,692	0	869,519
減価償却費(事業)		0	0	694,224	0	694,224
保 険 料(事業)		0	24,600	18,000	0	42,600
諸 会 費(事業)		0	1,000	10,000	0	11,000
租税 公課(事業)		14,839	100,577	282,769	8,244	406,429
その他経費計	0	1,431,124	4,596,072	11,603,107	122,704	17,753,007
合計	0	1,526,589	5,275,967	14,743,623	177,780	21,723,959

【使途等が制約された寄付等の内訳】

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は△6,335,023円ですが、そのうち3,965,000円は2020年4月からの事業に使用される財産です。したがって、使途が制約されていない正味財産は△10,300,023円です。

[税込] (単位: 円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
(公財)日本財団助成金(2018年度)	6,989,570		6,989,570	0	
(公財)日本財団助成金(2019年度)		9,110,000	9,110,000	0	
(公財)日本財団助成金(西日本豪雨)	407,221		407,221	0	
(公財)小林製薬青い鳥財団	633,262	3,965,000	633,262	3,965,000	翌期に使用予定の助成金
(公財)パブリックリソース財団助成金		51,850	51,850	0	
積水ハウスマッチングプログラムの会		1,200,000	1,200,000	0	
日本たばこ産業助成金		1,498,000	1,498,000	0	
合計	8,030,053	15,824,850	19,889,903	3,965,000	

前期注記補足

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
(公財)日本財団助成金(2018年度)		19,180,000	12,190,430	6,989,570	
合計	0	19,180,000	12,190,430	6,989,570	

【固定資産の増減内訳】

[税込] (単位: 円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
無形固定資産						
ソフトウェア	3,471,120			3,471,120	△ 2,545,470	925,650
合計	3,471,120	0	0	3,471,120	△ 2,545,470	925,650

【借入金の増減内訳】

[税込] (単位: 円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
(短期借入金)				
役員等借入	1,472,000	1,900,000	1,372,000	2,000,000
東京三協信用金庫		3,965,000		3,965,000
(長期借入金)				
役員等借入	2,500,000			2,500,000
日本政策金融公庫	3,872,000		1,573,000	2,299,000
東京三協信用金庫	1,650,000		650,000	1,000,000
合計	9,494,000	5,865,000	3,595,000	11,764,000

【役員及びその近親者との取引の内容】

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

[税込] (単位: 円)

科目	財務諸表に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び支配人等との取引
(貸借対照表)			
短期借入金	5,965,000	2,000,000	0
長期借入金	5,799,000	2,500,000	0
貸借対照表計	11,764,000	4,500,000	0

2019年度 財産目録

特定非営利活動法人アトピッツ地球の子ネットワーク
全事業所

[税込] (単位:円)
2020年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現金 57,182

普通預金 5,537,087

現金・預金計 5,594,269

(売上債権)

未収金 2,373,000

売上債権計 2,373,000

(棚卸資産)

棚卸資産 604,866

作成物等 (604,866)

棚卸資産計 604,866

(その他流動資産)

前払費用 164,648

仮払金 3,426

その他流動資産計 168,074

流動資産合計

8,740,209

【固定資産】

(無形固定資産)

ソフトウェア 925,650

無形固定資産計 925,650

(投資その他の資産)

出資金 10,000

敷金 300,000

投資その他の資産計 310,000

固定資産合計

1,235,650

資産合計

9,975,859

《負債の部》

【流動負債】

未払金 3,899,239

前受金 80,000

短期借入金 5,965,000

預り金 85,443

未払法人税等 70,000

未払消費税等 412,200

流動負債合計

10,511,882

【固定負債】

長期借入金 5,799,000

固定負債合計

5,799,000

負債合計

16,310,882

正味財産

△ 6,335,023

2020年度 年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

2020年3月31日現在

特定非営利活動法人アトピッ子地球の子ネットワーク

1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2 役員一覧

	役名 どちらかに○	(フリガナ)	住所又は居所	前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
		氏名			
1	○理事・監事	ヨシザワジュン	[REDACTED]	2019年4月1日	年 月 日
		吉澤 淳		～	～
2020年3月31日	年 月 日				
2	○理事・監事	アカギトモミ		2019年4月1日	年 月 日
		赤城 智美		～	～
2020年3月31日	年 月 日				
3	○理事・監事	アマガサケイスケ		2019年4月1日	年 月 日
		天笠 啓祐		～	～
2020年3月31日	年 月 日				
4	○理事・監事	イマムラシンタロウ		2019年4月1日	年 月 日
		今村 慎太郎	～	～	
2020年3月31日	年 月 日				
5	○理事・監事	ウシヤマミホ	2019年4月1日	年 月 日	
		牛山 美穂	～	～	
2020年3月31日	年 月 日				
6	○理事・監事	キムラアキヒロ	2019年4月1日	年 月 日	
		木村 彰宏	～	～	
2020年3月31日	年 月 日				
7	○理事・監事	クック エマ エリ ザベス	2019年4月1日	年 月 日	
		COOK EMMA ELIZABETH	～	～	
2020年3月31日	年 月 日				
8	○理事・監事	ゴトウカズアキ	2019年4月1日	年 月 日	
		後藤 和明	～	～	
2020年3月31日	年 月 日				
9	○理事・監事	サガネアキノリ	2019年4月1日	年 月 日	
		相根 昭典	～	～	
2020年3月31日	年 月 日				
10	○理事・監事	スギハラカツラ	2019年4月1日	年 月 日	
		杉原 桂	～	～	
2020年3月31日	年 月 日				

2020年度 年間役員名簿

(前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿)

2020年3月31日現在

特定非営利活動法人アトピッ子地球の子ネットワーク

1 確認事項(法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。)

以下の役員には、欠格事由者が含まれません。(法第20条関係)各役員について、親族の規定に違反していません。(法第21条関係)

2 役員一覧

	役名 どちらかに○	(フリガナ)	住所又は居所	前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
		氏名			
11	○理事・監事	タカハシヒロアキ	[REDACTED]	2019年4月1日 ～ 2020年3月31日	年 月 日
		高橋 広明			年 月 日
12	○理事・監事	タンケイジ		2019年4月1日 ～ 2020年3月31日	年 月 日
		丹 敬二			年 月 日
13	○理事・監事	ハタケヤマヨウスケ		2019年4月1日 ～ 2020年3月31日	年 月 日
		島山 洋輔			年 月 日
14	○理事・監事	ホンジョウツトム		2019年4月1日 ～ 2020年3月31日	年 月 日
		本庄 勉	年 月 日		
15	○理事・監事	マエカワタカフミ	2019年4月1日 ～ 2020年3月31日	年 月 日	
		前川 隆文		年 月 日	
16	理事・○監事	ミクモタカマサ	2019年4月1日 ～ 2020年3月31日	年 月 日	
		三雲 崇正		年 月 日	
			以下余白		年 月 日
					年 月 日
					年 月 日
					年 月 日
					年 月 日

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

2020年3月31日現在

特定非営利活動法人アトピッ子地球の子ネットワーク

	氏 名	住 所 又 は 居 所
1	赤城 智美	[Redacted]
2	丹 敬二	
3	牛山 美穂	
4	木村 彰宏	
5	石田 満美	
6	畠山 洋輔	
7	高橋 広明	
8	野中 かおり	
9	山岸 紀恵	
10	吉澤 淳	
	以下余白	